

巻頭言

実体験のすすめ.....久保田敏弘

解説

小学校学習指導要領における光学教育 — その歴史と

現状 —梅田倫弘

光学教材の開発.....原田建治

リモートによるレーザー教育.....米田仁紀ほか

光学関連セミナーの運営.....中野正人

フォーカス

日本とアメリカの光学教育.....ネイザン・ヘーガン

光学システム設計技術者になるには — アリゾナ大学

光科学部の4年間 —高島 讓

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

53巻 1号「錯視の科学とその社会実装への展開」

53巻 2号「光周波数コムを用いた新しい分光・形状計測」

53巻 3号「応用の広がるフォトニック結晶レーザー」

53巻 4号「光学の美容皮膚科学への活用」

53巻 5号「社会実装が加速する深紫外光技術」

テラヘルツ波は光と電波の中間の周波数帯域の電磁波を指し、両者の特徴を兼ね備える非常に興味深い電磁波です。1989年のテラヘルツ時間領域分光法の報告がきっかけとなり、基礎から応用までさまざまな研究開発が行われてきましたが、テラヘルツ波技術の社会実装に関してはコストが大きな障壁となっていました。近年、6GやBeyond 5Gとよばれる次世代通信システムにサブテラヘルツ帯・テラヘルツ帯が利用されるとされており、テラヘルツ波デバイスの量産化によって大幅なコストダウンが進めば、通信技術に限らず、さまざまなテラヘルツ波技術の社会実装が期待できます。

そこで、本特集ではテラヘルツ波技術の社会実装に焦点を当て、テラヘルツ波技術の歴史と社会実装への課題、非接触身体情報計測、材料評価技術、次世代通信のための周波数移行技術、ビッグデータを組み合わせたプラスチック選別技術に関しまして、わかりやすく解説していただきました。本特集を通じて、より多くの方にテラヘルツ波技術について興味を持っていただき、本分野のさらなる発展に繋がりましたら幸いです。

最後に、ご多忙にもかかわらずご寄稿いただいた執筆者の皆様、多くの助言をいただきました編集委員の皆様、編集局に、深く感謝申し上げます。（森本，小泉）

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2023 ©

第52巻 第11号 <月刊>

2023年11月10日 発行

定価1,500円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川2-23-11

常光ビル7F 有限会社学術新報社内

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

山本 裕紹*	芦原 聡**	内田 美幸	江川麻里子
岡野 誉之	小野 雅司	角田 英俊	金高 健二†
黒坂 剛孝	小泉 直也	齋藤 直洋	酒井 大輔
下垣 哲也	庄司 暁	鈴木 良政	瀬谷 安弘
田代 知範	堅 直也	玉田 洋介	張 開鋒
角井 泰之	中川 桂一	中村 友哉	日達 研一
藤井 瞬	藤村佳代子	堀切 智之	堀崎 遼一†
水谷 康弘	水野 洋輔	三宅 大助	本山 央人
森本 智英	安田 英紀	山中 真仁	

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp